

水系1液反応硬化形ウレタン  
単層弾性塗材

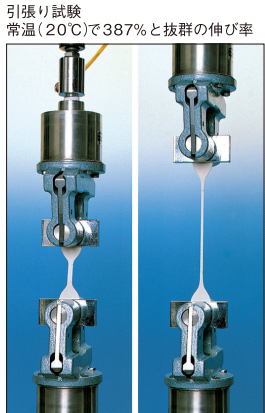
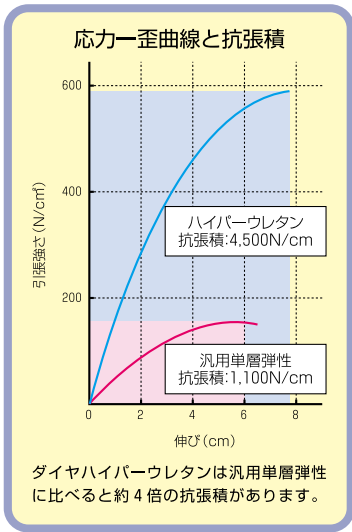
# ダイヤハイパーウレタン

ひび割れを強固にガードし、  
強靱な塗膜が長期にわたり建物を維持します。

コンクリートにひび割れが生じる時には塗膜を引き裂く力が作用します。しかし塗膜の抵抗力が大きければ、塗膜そのものにひび割れが生じることはありません。この抵抗力の目安が抗張積(引張強さ<sup>※1</sup>×伸び<sup>※2</sup>)。これが大きいほど塗膜は破断しにくくなります。

三次元網目構造のウレタン結合で抗張積を大きくすることにより、ダイヤハイパーウレタンの強靱な塗膜を実現しました。

※1 ひずみが大きくなると材料は破断する。その前に材料に表れる最大の引張応力、あるいは材料が耐える最大の引張り応力のこと。  
※2 材料が破断する直前における最大の変形量(ひずみ)のこと。もとの長さに対する比率を表す。



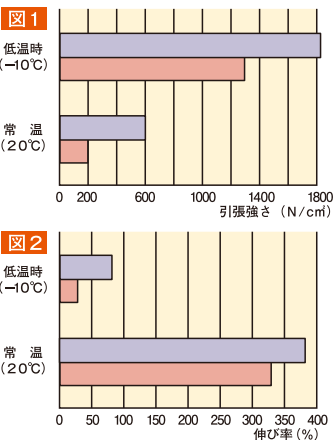
| ダイヤハイパーウレタン 成績表 |                                                                         |                         |                      |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------|
| 試験項目            | 試験結果                                                                    | 標準                      | 試験方法                 |
| 塗膜の外観           | 見本品に比べて、割れ・剥れ・色剥落・凹凸の差異が少なく、むら・穴の程度が大きくないこと                             | 異常なし                    | 目視                   |
| 低温安定性           | 塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと                                                     | 異常なし                    | JIS A 6909・2003 7.5  |
| 初期乾燥によるひび割れ抵抗性  | 3m/secの気流で、ひび割れが生じないこと                                                  | 異常なし                    | JIS A 6909・2003 7.8  |
| 付着強さ            | 標準状態 0.7N/mm以上<br>浸水後 0.5N/mm以上                                         | 2.3<br>2.5              | JIS A 6909・2003 7.9  |
| 凍冷繰り返し作能に対する抵抗性 | 試験体の表面に、はがれ・ひび割れ・剥れがなく、かつ著しい変色がないこと                                     | 異常なし                    | JIS A 6909・2003 7.10 |
| 透水性             | 0.5mm以下                                                                 | 0.03                    | JIS A 6909・2003 7.12 |
| 耐衝撃性            | ひび割れや著しい変形及び断端との割れがないこと                                                 | 異常なし                    | JIS A 6909・2003 7.14 |
| 耐熱性 (A法)        | WS型のエサメーターで250時間照射しても、割れ・ふくれ・剥がれ・白化が少なく、見本品に比べて色の変化が大きいこと (グレースケールで3以上) | 異常なし                    | JIS A 6909・2003 7.18 |
| 伸び              | 20℃時 120%以上<br>-10℃時 20%以上<br>浸水後 100%以上<br>加温後 100%以上                  | 387<br>75<br>175<br>200 | JIS A 6909・2003 7.29 |
| 伸び時の劣化          | 剥離・反り・むくれがなく、主材に破損及びひび割れがないこと                                           | 異常なし                    | JIS A 6909・2003 7.30 |
| 耐汚染性            | 屋外暴露1年において、著しい劣化が見られないこと                                                | 異常なし                    | NSK-S-013            |
| 透湿度             | 80g/m <sup>2</sup> ・day以上                                               | 85                      | JIS Z 0208・1976      |
| 耐熱性             | 5wt%硫酸溶液中に24時間浸しても、著しい変色・変質がないこと                                        | 異常なし                    | JIS K 5600・1999 6-1  |
| 防かび性            | 塗膜に1か月間カビが生じないこと                                                        | 異常なし                    | JIS Z 2911・2000      |
| 防藻性             | 塗膜に1か月間藻が生じないこと                                                         | 異常なし                    | 自社試験法                |

## 強靱性 (図1)

液反応硬化形ウレタン樹脂を用いることにより、非常に強靱な塗膜を形成します。

## 防水性 (図2)

温度依存性の少ないウレタン樹脂を用いているため、低温時の伸びに優れた良好な防水性を発揮します。



## 標準仕様

| 工程    | 材料                                                                                                                                                                                    | 割合割合             | 所要量                      | 塗回数 | 間隔時間(※1) | 施工用具              |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------------|-----|----------|-------------------|
| 下地調整  | ◎コンクリート、モルタルは充分乾燥させてください(含水率10%、pH10以下)。<br>◎レイタンス、エアロ、油脂類、ホコリ等を除去し、豆板欠け、不陸、目違いはポリマーセメント補修材で平滑に補修してください。<br>◎吸込み差がある場合には、下地調整材(ダイヤセメントフィラー、ダイヤフィラー、セメンジャス#2000)を前面に塗布し、吸込みを均一にしてください。 |                  |                          |     |          |                   |
| 1 下塗り | ダイヤワイドシーラー ※2<br>無希釈                                                                                                                                                                  | 15kg             | Q.1~Q.2kg/㎡<br>75~150㎡/缶 | 1   | 2時間以上    | 刷毛、中毛ローラー<br>エアレス |
| 2     | ダイヤハイパーウレタンR<br>清水                                                                                                                                                                    | 16kg<br>0~Q.5%   | Q.8~1.0kg/㎡<br>16~20㎡/缶  | 1   | 5時間以上    | 多孔質ローラー           |
| 3     | ダイヤハイパーウレタンR<br>清水                                                                                                                                                                    | 16kg<br>1.0~1.3% | Q.2~Q.3kg/㎡<br>53~80㎡/缶  | 1   | —        | 中毛ローラー ※3         |
| 2     | ダイヤハイパーウレタンS<br>清水                                                                                                                                                                    | 16kg<br>Q.8~1.3% | Q.6~Q.7kg/㎡<br>23~27㎡/缶  | 1   | 5時間以上    | ジュラクガン            |
| 3     | ダイヤハイパーウレタンS<br>無希釈                                                                                                                                                                   | 16kg             | Q.5~Q.6kg/㎡<br>26~32㎡/缶  | 1   | —        | タイルガン             |

※1 間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。 ※2 下地の吸込みが著しい場合には2回塗りしてください。  
また、改修仕様の場合は、ダイヤアクレスフィラー、ダイヤガンコーラーを状況に応じて使い分けてください。 ※3 多孔質ローラーを用いる場合もあります(清水希釈0~0.5%、所要量0.8~1.0kg/㎡)。

## 改修工法 (施工例)

| 下地調整   | 各改修工事仕様に基いて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください。 |                                  |                                           |        |                 |                         |
|--------|------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------|--------|-----------------|-------------------------|
| 1 下地処理 | ダイヤアクレスフィラー<br>清水                        | 1.0~1.3%<br>0.5~0.8%<br>1.3~2.0% | 0.3~0.5kg/㎡<br>0.8~1.0kg/㎡<br>0.6~1.0kg/㎡ | 1<br>1 | 5時間以上<br>16時間以上 | 中毛ローラー<br>多孔質ローラー<br>吹付 |
| 2      | ダイヤハイパーウレタンR<br>清水                       | 16kg<br>0~Q.5%                   | Q.8~1.0kg/㎡<br>16~20㎡/缶                   | 1      | 5時間以上           | 多孔質ローラー                 |
| 3      | ダイヤハイパーウレタンR<br>清水                       | 16kg<br>1.0~1.3%                 | Q.2~Q.3kg/㎡<br>53~80㎡/缶                   | 1      | —               | 中毛ローラー                  |
| 2      | ダイヤハイパーウレタンS<br>清水                       | 16kg<br>Q.8~1.3%                 | Q.6~Q.7kg/㎡<br>23~27㎡/缶                   | 1      | 5時間以上           | ジュラクガン                  |
| 3      | ダイヤハイパーウレタンS<br>無希釈                      | 16kg                             | Q.5~Q.6kg/㎡<br>26~32㎡/缶                   | 1      | —               | タイルガン                   |



▲施工例：飯田橋プレーン  
使用材料：ダイヤアクレスフィラー、ダイヤハイパーシリコンR



▲施工例：亀戸レジデンス 使用材料：ダイヤニューデポールR

## 適用下地

コンクリート(PC、RC)、セメントモルタル、石綿スレート、フレキシブルボード、サイディングボード、軽量気泡コンクリート(ALC)※、コンクリートブロック※、各種塗り替え下地(リシン、タイル、スタッコ、弾性塗膜等)※  
(※印=ダイヤアクレスフィラー等による下地調整(目つぶし)が必要です。※印=旧塗膜の状況により下塗材の種類が変わります。)

### ■施工・管理上の注意

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- 材料が付着乾燥し、歩くと取れませんので、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、吹付け後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃してください。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと破が残り(り)となります。
- コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 濃色や暗色の場合、速くする色が取れる場合があります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- 清水で希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- 下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 工程間隔時間は充分取って下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によって汚染、亀裂、剥離など不具合が発生する場合があります。
- 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。

### ■安全衛生上の注意

- 取扱い、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱い後は、手洗い及び口を充分に行ってください。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 作業中・作業後は充分換気を行ってください。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 目に入った場合には、直ちに大量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と大量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。



# 株式会社 ダイフレックス

DYFLEX

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル  
☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021  
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取扱店

耐汚染型

防カビ・防藻

安全性

防水性

透湿性



# 単層弾性シリーズ

## ダイヤニューデポール/ダイヤハイパーシリコン/ダイヤハイパーウレタン

数々の優れた特性が驚異の性能を実現。

### 多機能型単層弾性仕上塗材

## ダイヤニューデポール

耐汚染型 防カビ・防藻 安全性 防水性 透湿性

- 親水性のある、ベタツキの少ない塗膜が汚染を寄せ付けず長期にわたって美観を維持します。
- 優れた透湿性により、塗膜のフクレや凍害などを抑制します。
- 低温時でも安定した性能を発揮する弾性塗膜が、躯体のひび割れを吸収し雨水の浸入を防ぎます。
- 飛散が少なく改装に適したローラー工法と作業性に優れた吹付工法があります。

### 水系1液アクリルシリコン単層弾性塗材

## ダイヤハイパーシリコン

耐候型 耐汚染型 防カビ・防藻 安全性 防水性 透湿性

- 親水性のあるシリケートポリマーの採用で雨水による自浄作用で優れた低汚染性を発揮します。
- 透湿性に富む塗膜が、結露や凍害の発生を防止します。
- 温度依存性の少ないシリコン樹脂の採用で、低温時の伸びに優れた塗膜が防水性を発揮します。
- 飛散が少なく改装に適したローラー工法と作業性に優れた吹付工法があります。

### 水系1液反応硬化形ウレタン単層弾性塗材

## ダイヤハイパーウレタン

耐候型 耐汚染型 防カビ・防藻 安全性 防水性 透湿性

- ウレタン結合により緻密で強靱な塗膜を形成しますので、汚染物質を寄せ付けず長期間にわたり美観を維持します。
- 温度依存性の少ないウレタン樹脂を用いているため、低温時の伸びにも優れています。
- ウレタン樹脂の強靱な塗膜が躯体のひび割れを吸収し雨水の浸入を防ぎます。
- 飛散が少なく改装に適したローラー工法と作業性に優れた吹付工法があります。

| ■包装単位        |       |              |       |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ダイヤワイドシーラー   | 15kg缶 | ダイヤハイパーシリコンS | 16kg缶 |
| ダイヤアクリスフィラー  | 16kg缶 | ダイヤニューデポールR  | 16kg缶 |
| ダイヤガンコシーラー   | 15kg缶 | ダイヤニューデポールS  | 16kg缶 |
| ダイヤハイパーウレタンR | 16kg缶 | 艶消タイプ        |       |
| ダイヤハイパーウレタンS | 16kg缶 | ダイヤニューデポールRM | 16kg缶 |
| ダイヤハイパーシリコンR | 16kg缶 | ダイヤニューデポールSM | 16kg缶 |

改修工法（既存塗膜のテクスチャーを変える仕上げ）



既存塗膜（リシン面）  
ダイヤアクリスフィラー（多孔質ローラー）  
ダイヤニューデポールR（さざなみ模様）

ダイヤニューデポールR（スチップル模様）



### 多機能型単層弾性仕上塗材

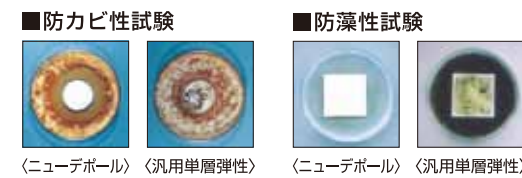
## ダイヤニューデポール

JIS A 6909 防水形外装薄塗材 E

### さまざまな要因から建物を守る！

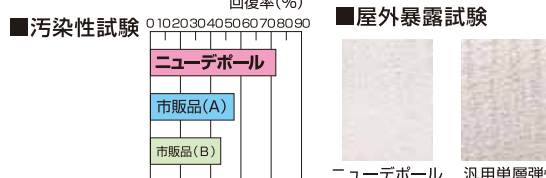
#### 防カビ・防藻性

壁面のカビ・藻の発生を抑制するとともに、カビ・藻による塗膜劣化を防ぎます。



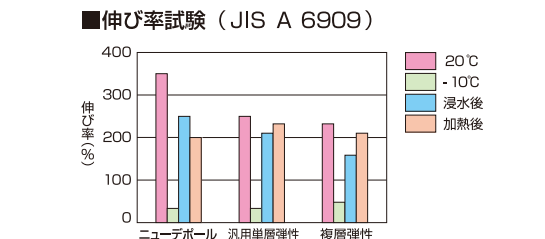
#### 耐汚染性

特殊表面技術により親水性を付加、表層面を緻密化し、ベタツキを少なくしましたので、汚染物質を寄せ付けず、長期にわたり美観を維持します。



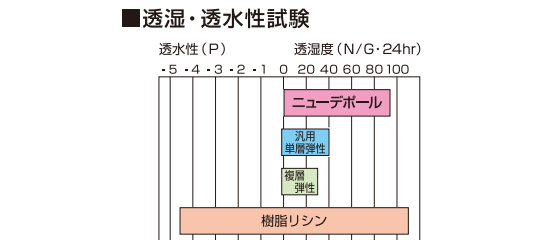
#### 防水性

塗膜弾性は下地のひび割れを吸収して雨水等の浸入を防ぎ、低温時においても優れた防水性を発揮します。



#### 透湿性

室内の湿気を屋外へ逃がし、塗膜のふくれや結露等を防止します。



#### ■JIS仕様

| 工 程         | 材 料                                                                                                                                                                                     | 調査割合             | 所要量                         | 塗回数 | 間隔時間(※1) | 施工用具              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------|-----|----------|-------------------|
| 下地調整        | ◎コンクリート、モルタルは十分に乾燥させてください(含水率10%、pH10以下)。<br>◎レイタンス、エフロ、油脂類、ホコリ等を除去し、豆板、欠け、不陸、目違いはポリマーセメント補修材で平滑に補修してください。<br>◎吸込み差がある場合には、下地調整材(ダイヤセメントフィラー、ダイヤフィラー、セメンジャス#2000)を全面に塗布し、吸込みを均一にしてください。 |                  |                             |     |          |                   |
| 1 下塗り       | ダイヤワイドシーラー ※2                                                                                                                                                                           | 15kg             | 0.1～0.2 kg/㎡<br>75～150 ml/缶 | 1   | 2時間以上    | 刷毛、中毛ローラー<br>エアレス |
| 2 主 材 (下塗り) | ダイヤニューデポールR                                                                                                                                                                             | 16kg<br>0～0.5%   | 0.3～0.4 kg/㎡<br>40～53 ml/缶  | 1   | 5時間以上    | 中毛ローラー            |
| 3 主 材 (上塗り) | ダイヤニューデポールR                                                                                                                                                                             | 16kg<br>0～0.5%   | 0.3～0.4 kg/㎡<br>40～53 ml/缶  | 1   | —        | 中毛ローラー            |
| 2 主 材 (下塗り) | ダイヤニューデポールR                                                                                                                                                                             | 16kg<br>0～0.5%   | 0.6～0.7 kg/㎡<br>23～26 ml/缶  | 1   | 5時間以上    | 多孔質ローラー           |
| 3 主 材 (上塗り) | ダイヤニューデポールR                                                                                                                                                                             | 16kg<br>1.0～1.4% | 0.2～0.3 kg/㎡<br>54～80 ml/缶  | 1   | —        | 中毛ローラー ※3         |
| 2 主 材 (下吹き) | ダイヤニューデポールS                                                                                                                                                                             | 16kg<br>0.8～1.2% | 0.6～0.7 kg/㎡<br>23～26 ml/缶  | 1   | 5時間以上    | ジュラクガン            |
| 3 主 材 (玉吹き) | ダイヤニューデポールS                                                                                                                                                                             | 16kg             | 0.5～0.6 kg/㎡<br>27～32 ml/缶  | 1   | —        | タイルガン             |
| (4) ※4 凸部処理 | 主材の玉吹き後、すぐに、硬質プラスチックローラーにラッカーシンナーを付けながら均一に押える。                                                                                                                                          |                  |                             |     |          |                   |

※1 間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。 ※2 下地の吸込みが著しい場合には、2回塗りしてください。

また、改装仕様の場合は、ダイヤアクリスフィラー、ダイヤガンコシーラーを状況に応じて使い分けてください。

※3 多孔質ローラーを用いる場合もあります(清水希釈0～0.5%、所要量0.6～0.7kg/㎡)。 ※4 凸部処理仕様の場合のみ適用してください。

#### ■改修工法（施工例）

| 下地調整   | 各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください。 |                                  |                                           |             |                 |                         |
|--------|-------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------|-------------|-----------------|-------------------------|
| 1 下地処理 | ダイヤアクリスフィラー<br>清 水                        | 1.0～1.3%<br>0.5～0.8%<br>1.3～2.0% | 0.3～0.5kg/㎡<br>0.8～1.0kg/㎡<br>0.6～1.0kg/㎡ | 1<br>1<br>1 | 5時間以上<br>16時間以上 | 中毛ローラー<br>多孔質ローラー<br>吹付 |
| 2 下塗り  | ダイヤニューデポールR<br>清 水                        | 16kg<br>0～0.5%                   | 0.6～0.7kg/㎡<br>23～26ml/缶                  | 1           | 5時間以上           | 多孔質ローラー                 |
| 3 上塗り  | ダイヤニューデポールR<br>清 水                        | 16kg<br>1.0～1.4%                 | 0.2～0.3kg/㎡<br>54～80ml/缶                  | 1           | —               | 中毛ローラー                  |
| 1 下地処理 | ダイヤアクリスフィラー<br>清 水                        | 1.0～1.3%<br>0.5～0.8%<br>1.3～2.0% | 0.3～0.5kg/㎡<br>0.8～1.0kg/㎡<br>0.6～1.0kg/㎡ | 1<br>1<br>1 | 5時間以上<br>16時間以上 | 中毛ローラー<br>多孔質ローラー<br>吹付 |
| 2 下吹き  | ダイヤニューデポールS<br>清 水                        | 16kg<br>0.8～1.2%                 | 0.6～0.7kg/㎡<br>23～26ml/缶                  | 1           | 5時間以上           | ジュラクガン                  |
| 3 玉吹き  | ダイヤニューデポールS<br>無希釈                        | 16kg                             | 0.5～0.6kg/㎡<br>27～32ml/缶                  | 1           | —               | タイルガン                   |

### 水系1液アクリルシリコン単層弾性塗材

## ダイヤハイパーシリコン

#### 高耐久性

耐久性にすぐれたアクリルシリコン樹脂の採用で、長期間にわたり壁面を保護します。

#### 防水性

温度依存性の少ないアクリルシリコン樹脂の採用で、低温時の伸びにすぐれた塗膜が防水性を発揮します。

#### 耐汚染性

親水性のあるシリケートポリマーの採用により、雨水による自浄作用ですぐれた低汚染性を発揮します。

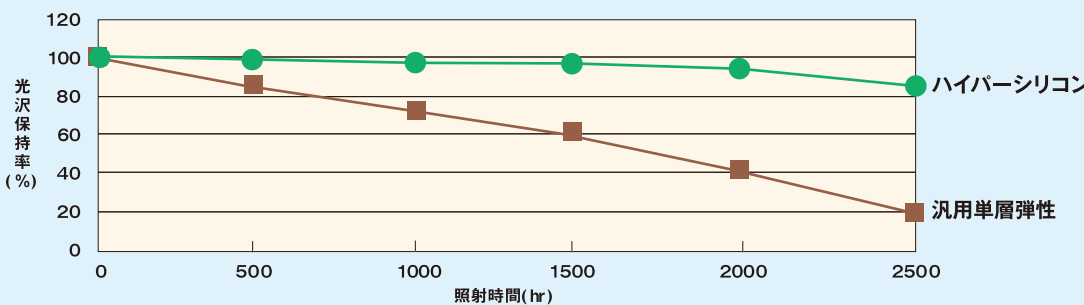
#### 透湿性

透湿性に富む塗膜が室内の湿気を外に逃がし、塗膜のふくれや凍害、結露の発生を防止します。

#### 防カビ・防藻性

微生物汚染の抑制効果の高い塗膜が、清潔感あふれる壁面を永く維持します。

◎促進耐候性試験(キセノンウエザオメーター)における光沢保持率の変化



#### ■標準仕様

| 工 程         | 材 料                                                                                                                                                                                   | 調査割合             | 所要量                         | 塗回数 | 間隔時間(※1) | 施工用具              |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------|-----|----------|-------------------|
| 下地調整        | ◎コンクリート、モルタルは充分乾燥させてください(含水率10%、pH10以下)。<br>◎レイタンス、エフロ、油脂類、ホコリ等を除去し、豆板欠け、不陸、目違いはポリマーセメント補修材で平滑に補修してください。<br>◎吸込み差がある場合には、下地調整材(ダイヤセメントフィラー、ダイヤフィラー、セメンジャス#2000)を全面に塗布し、吸込みを均一にしてください。 |                  |                             |     |          |                   |
| 1 下塗り       | ダイヤワイドシーラー ※2                                                                                                                                                                         | 15kg             | 0.1～0.2 kg/㎡<br>75～150 ml/缶 | 1   | 2時間以上    | 刷毛、中毛ローラー<br>エアレス |
| 2 主 材 (下塗り) | ダイヤハイパーシリコンR                                                                                                                                                                          | 16kg<br>0～0.5%   | 0.8～1.0 kg/㎡<br>16～20 ml/缶  | 1   | 5時間以上    | 多孔質ローラー           |
| 3 主 材 (上塗り) | ダイヤハイパーシリコンR                                                                                                                                                                          | 16kg<br>1.0～1.3% | 0.2～0.3 kg/㎡<br>53～80 ml/缶  | 1   | —        | 中毛ローラー            |
| 2 主 材 (下吹き) | ダイヤハイパーシリコンS                                                                                                                                                                          | 16kg<br>0.8～1.3% | 0.6～0.7 kg/㎡<br>23～27 ml/缶  | 1   | 5時間以上    | ジュラクガン            |
| 3 主 材 (玉吹き) | ダイヤハイパーシリコンS                                                                                                                                                                          | 16kg             | 0.5～0.6 kg/㎡<br>26～32 ml/缶  | 1   | —        | タイルガン             |
| (4) ※3      | 主材の玉吹き後、すぐに、硬質プラスチックローラーにラッカーシンナーを付けながら均一に押える。                                                                                                                                        |                  |                             |     |          |                   |

※1 間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※2 下地の吸込みが著しい場合には2回塗りしてください。また、改装仕様の場合は、ダイヤアクリスフィラー、ダイヤガンコシーラーを状況に応じて使い分けてください。

※3 凸部処理仕様の場合のみ適用してください。

#### ■改修工法（施工例）

| 下地調整   | 各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください。 |                                  |                                           |             |                 |                         |
|--------|-------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------|-------------|-----------------|-------------------------|
| 1 下地処理 | ダイヤアクリスフィラー<br>清 水                        | 1.0～1.3%<br>0.5～0.8%<br>1.3～2.0% | 0.3～0.5kg/㎡<br>0.8～1.0kg/㎡<br>0.6～1.0kg/㎡ | 1<br>1<br>1 | 5時間以上<br>16時間以上 | 中毛ローラー<br>多孔質ローラー<br>吹付 |
| 2 下塗り  | ダイヤハイパーシリコンR<br>清 水                       | 16kg<br>0～0.5%                   | 0.8～1.0 kg/㎡<br>16～20 ml/缶                | 1           | 5時間以上           | 多孔質ローラー                 |
| 3 上塗り  | ダイヤハイパーシリコンR<br>清 水                       | 16kg<br>1.0～1.3%                 | 0.2～0.3 kg/㎡<br>53～80 ml/缶                | 1           | —               | 中毛ローラー                  |
| 2 下吹き  | ダイヤハイパーシリコンS<br>清 水                       | 16kg<br>0.8～1.3%                 | 0.6～0.7 kg/㎡<br>23～27 ml/缶                | 1           | 5時間以上           | ジュラクガン                  |
| 3 玉吹き  | ダイヤハイパーシリコンS<br>無希釈                       | 16kg                             | 0.5～0.6 kg/㎡<br>26～32 ml/缶                | 1           | —               | タイルガン                   |